（1）　明治20年創刊　第35467号（第３種郵便物認可）　THE JOMO SHIMBUN　1993年（平成５年）11月20日（土曜日）（日刊）

年内成立か継続審議か

法案修正は当然　山本氏
与野党合意なら　角田氏

―法案には参院改革が盛り込まれていない、との声もある。

角田　参院改革は一年半後をめどに、衆参の選挙制度改革大綱を基本に取り組もうというのが基本的な考え方だ。今国会に提出するかどうかは未定だが、これを基本に政府・与党と折衝する。

―地方の首長から議員に対するお応援願いなど、参院におけるルールづくりの観点からも法案修正はどう取り組むのか。

山本　参院の総数を二十減らし、比例制は将来の衆参同一制以前の全国区のような非拘束制にする、という参院自民党としての選挙制度改革大綱をまとめた。今国会に提出するかどうかは未定だが、これを基本に政府・与党と折衝する。

―地方の首長から議員に対するお応援願いなど、参院におけるルールづくりの観点からも法案修正はどう取り組むのか。

山本　参院の総数を二十減らし、比例制は将来の衆参同一制以前の全国区のような非拘束制にする、という参院自民党としての選挙制度改革大綱をまとめた。今国会に提出するかどうかは未定だが、これを基本に政府・与党と折衝する。

―法案には参院改革が盛り込まれていない、との声もある。

角田　参院改革は一年半後をめどに、衆参の選挙制度改革大綱を基本に取り組もうというのが基本的な考え方だ。今国会に提出するかどうかは未定だが、これを基本に政府・与党と折衝する。

―地方の首長から議員に対するお応援願いなど、参院におけるルールづくりの観点からも法案修正はどう取り組むのか。

山本　参院の総数を二十減らし、比例制は将来の衆参同一制以前の全国区のような非拘束制にする、という参院自民党としての選挙制度改革大綱をまとめた。今国会に提出するかどうかは未定だが、これを基本に政府・与党と折衝する。

―法案には参院改革が盛り込まれていない、との声もある。

角田　参院改革は一年半後をめどに、衆参の選挙制度改革大綱を基本に取り組もうというのが基本的な考え方だ。今国会に提出するかどうかは未定だが、これを基本に政府・与党と折衝する。

―地方の首長から議員に対するお応援願いなど、参院におけるルールづくりの観点からも法案修正はどう取り組むのか。

山本　参院の総数を二十減らし、比例制は将来の衆参同一制以前の全国区のような非

会期延長も必要　山本氏
日程的には無理　角田氏

―法案の審議は低い一カ月以内にやるのか。

角田　審議は尽くした、問題はトップ会談だった。連立与党の社会党は苦しい選択を迫られたが、政治改革を求める世論と細川首相への一任を重視した。つまり、首相はフリーハンドでトップ会談に臨んだのに対して、自民党の河野総裁はどうでなかった。だから決裂した。

山本　時間をかけて（選挙）慎重な審議をしたと思う。トップ会談は形の上では決裂に見えるが、政府の腰抜けもかなりあり、河野総裁はよくやった。採決に当たって、かつての野党のように欠席とか物理的な抵抗はおかなかった。与野党逆転時に参院で作り上げた本来の与党、よき野党の在り方を衆院でもっと経験したかった、ということだろう。

―参院での法案審議はどう進めるか。

山本　参院の審議をとって徹底的に審議する。ただ、あまりにも長期間が続いたり、政治資金、政党助成など衆院でこなしていない問題がかなりあり、公聴会で出た地方の声も反映されていないから、重要